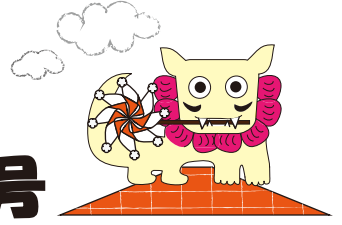


タンネウシ

1月号



ミュージアムカフェ
姉妹町、竹富(てーどぅん)
1月22日(木) 18:30~20:00



常夏の国、竹富。寒い季節にそんな南の島の話はいかが? 昨年度は姉妹町盟約40周年を記念し、博物館でも沖縄県竹富町のさまざまな展示や調査を行いました。また、今年度も竹富町にある西表島の自然を紹介する展示を行ったばかり。これらの準備のため竹富を訪れたときに見聞きした自然や文化についてお話しします。

●定員: 13名、要申込み ●場所: 交流記念館(博物館となり)2階応接室 ●参加費: 無料 ●コーヒー、紅茶のようなものを用意します ●講師: 内田学芸員



トピックス ●新聞報道等でご存知かと思いますが11月24日(月・振替休日)午前10時頃、港町の道路上でトドがひなたぼっこしてるとの町民からの通報が斜里町役場にあり、環境課の岡田課長、当館の村上学芸員、知床財団の増田事務局長らが現場にかけつけました。トドは特に外傷もなく比較的元気な様子。推定体重120-150kgくらいのメス(亜成獣)でした。最初は重機での運搬を考えましたが結局大人7-8名でシートにくるみ、軽トラックに乗せて前浜の海岸まで運びました。波打ち際まで連れて行くと、やがて海に気づき、自ら泳いで沖へ行きました。一部始終はYouTubeの動画でごらんいただけます(撮影は村上学芸員の奥様です)(佐藤)



・年末年始は12月29日から1月5日まで休館
・1月の休館日は19・26日の月曜日と、12日の祝日、翌13日(火)です。

斜里高等学校
「知床自然概論」の研究発表
1月30日(金) 9:00~



「知床自然概論」は博物館の学芸員などが講師をつとめる授業です。知床の自然を学んだ高校生による一年間の成果発表を「斜里高校学習成果発表会」内で行います。猛禽類や魚類、哺乳類など、テーマを決めてグループごとに研究を発表します。

●定員: なし ●参加費: 無料 ●申込み不要 ●場所: ゆめホール知床 ※今回の会場は博物館ではなく、自然概論以外の授業の発表も一緒に行われます。

国内でも数少なく貴重です イリオモテヤマネコ標本常設展示へ

知床博物館特別展「知床、西表からのメッセージ」は12月25日をもって終了いたしました。ご来場いただいた皆様、どうもありがとうございました。



さて、この特別展で初公開したイリオモテヤマネコの剥製と骨格標本は、環境省の協力により2013年5月に交通事故で死亡した個体の標本から製作したものです。個体数100個体程度という絶滅危惧種の標本であり、おそらく国内でも数個体しかない貴重なものです。特別展は終了しましたが、イリオモテヤマネコの剥製と骨格標本は、今後もこの種が世界的に貴重であることと交通事故防止を伝えるために活用してゆきます。4月から交流記念館展示室で常設展示をする予定で準備をしていますのでご期待ください。

トピックス2 ●こちらテレビ報道等でご存知かと思いますが、斜里町前浜町の海岸で絶滅危惧種のキノコ、アカダマスツポントケが発見されました。国内で自生が確認されているのはほかに石狩浜の1箇所だけで、斜里町から300km離れています。今回の発見により、町内はもちろん北海道のほかの砂浜でも自生している可能性が出てきました。ちなみに近所に住む発見者の方は8月30日、日課の蟹気楼観測の際、砂地に1本だけ生えているのに気づきました。その後は当館の学芸員も近辺を探していますが、2本めは見つかっていません。アカダマスツポントケの石狩での発生時期は9-10月なので、来年はみなさんも散歩の途中で探してみましょう! 見つけたら博物館に一報を! (佐藤)

ここから上が砂地に出ているよ!
ハ工を引き寄せるためとても臭い!



協会の皆さまには、新しいオリジナル絵はがき「斜里岳とじゃがいも畑」を同封しました。販売(1枚70円)もしております